

# ふれあい情報

## 2016年 8月3日 (水) 第233号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 菅井義夫  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
 TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp <ホームページ> 「退職者連合」で検索してください。

### 行動する退職者連合が始動！

「2016年度社会保障制度等に関する要求」

## 実現求めて政府・政党に要請

退職者連合は、7月15日の第20回定期総会で決定した2016年度社会保障制度等に関する要求、低所得高齢単身女性問題についての政策・制度要求の実現に向けて行動を開始しました。まず7月20日付けで全国の地方退職者連合に対して自治体要請行動の取り組みをお願いしました。中央では、7月22日と27日に霞ヶ関の厚労省に要請、政党では8月1日に民進党、2日に社民党に要請しました。中央と地方が連携して政策・制度要求の実現に取り組むことは、暴走する安倍政権によって社会保障費が大幅に抑制されていることへの私たちの怒りと抵抗の闘いです。中央での取り組みによって、まずは「行動する退職者連合」の第一歩が印されました。今後、地方での取り組みの展開へと繋がっていきます。なお、厚労省の回答は、「2016年度結論と動向」にまとめ、9月29日開催の地方代表者会議で報告します。

厚労省 7月22日

### 宮川晃総括審議官に要請



▲阿部会長(左から2人目)が宮川総括審議官に要請書を手渡す。左から菅井事務局長、2人おいて南部副会長、川端常幹、野田副事務局長(7月22日、厚労省で)

厚労省要請では、7月22日午後1時半から、宮川晃総括審議官に会い、阿部保吉会長が要請書を手渡しました。

宮川総括審議官からは、要求の各項目について回答があり、その後、被用者保険の適用と対象拡大、僅少労働年金など、主要な項目について意見交換しました。

約1時間にわたった要請行動には、南部美智代副会長、菅井義夫事務局長、野田那智子・林道寛両副事務局長、川端邦彦常任幹事、熊崎清子幹事の5名も出席しました。

### 連合に総会の報告とお礼



▲連合神津会長(中央)に総会のお礼を述べる退職者連合三役のみなさん。(7月26日、連合会長室)

退職者連合の三役は、7月26日午後、連合の神津会長に会い、総会の報告とお礼を述べました。



▲意見交換では、宮川審議官(中央)と真摯なやり取りが行われた。(7月22日、総括審議官室)

# 政策・制度の前進に向けて担当官の努力に期待を表明 阿部会長

## 厚労省関係局・実務担当官への要請 7月27日



▲労使関係担当参事官室の辻政司室長補佐(左)に要請書を渡す阿部会長。(7月27日、厚労省)

退職者連合は、7月27日午前10時から霞ヶ関の厚労省1階第5共用会議室で年金、医療・介護、雇用・労働など厚労省関係部局の担当官34名を前に、社会保障制度等に関する要求についてその実現を求めました。阿部保吉会長は、冒頭のあいさつの中で「我々の政策要求に実現できないこともあるかもしれませんが、ぜひとも今後の制度改正にあたっては極力前進するよう期待しています」と述べました。



▲要請に参加した退職者連合。右から野田副事務局長、菅井事務局長、阿部会長、太田常幹、熊崎幹事。(7月27日、共用第五会議室)



▲安井雄一第一係長の進行で要求の各項目にわたり、各担当官(左側)から回答があった。



▲阿部会長のまとめの話に背筋を伸ばしてじっと聞き入る各担当官のみなさん。(同)



▲民進党要請。右から太田常幹、阿部会長、菅井事務局長、山尾政調会長、羽田団体交流委員長、川田ネクト厚労大臣、大島筆頭代理、川端常幹、熊崎幹事、野田副事務局長。(8月1日、衆議院第2議員会館、民進党政調会長室)



▲社民党要請。吉田党首(左から2人目)と福島副党首に要請書を手渡す阿部会長。右は菅井事務局長、左は、野田副事務局長。(8月2日、社民党本部)

一歩でも二歩でも前に進むように 阿部会長

8月1日 民進党、2日 社民党に要請

民進党要請は、衆議院第2議員会館の民進党政調会長室(地下2階)で行われました。民進党からは衆議院議員の山尾志桜里政務調査会長、参議院議員の川田龍平ネクト厚生労働大臣、衆議院議員の大島敦政調会長筆頭代理、参議院議員の羽田雄一郎団体交流委員長(4名)が出席しました。また、社民党要請では、社民党本部で吉田忠智党首、福島瑞穂副党首が要請を受けました。両党要請で阿部会長は、「退職者連合の要求が一步でも二歩でも前に進むようにお願いしたい」と述べ、秋の国会での奮闘を求めました。